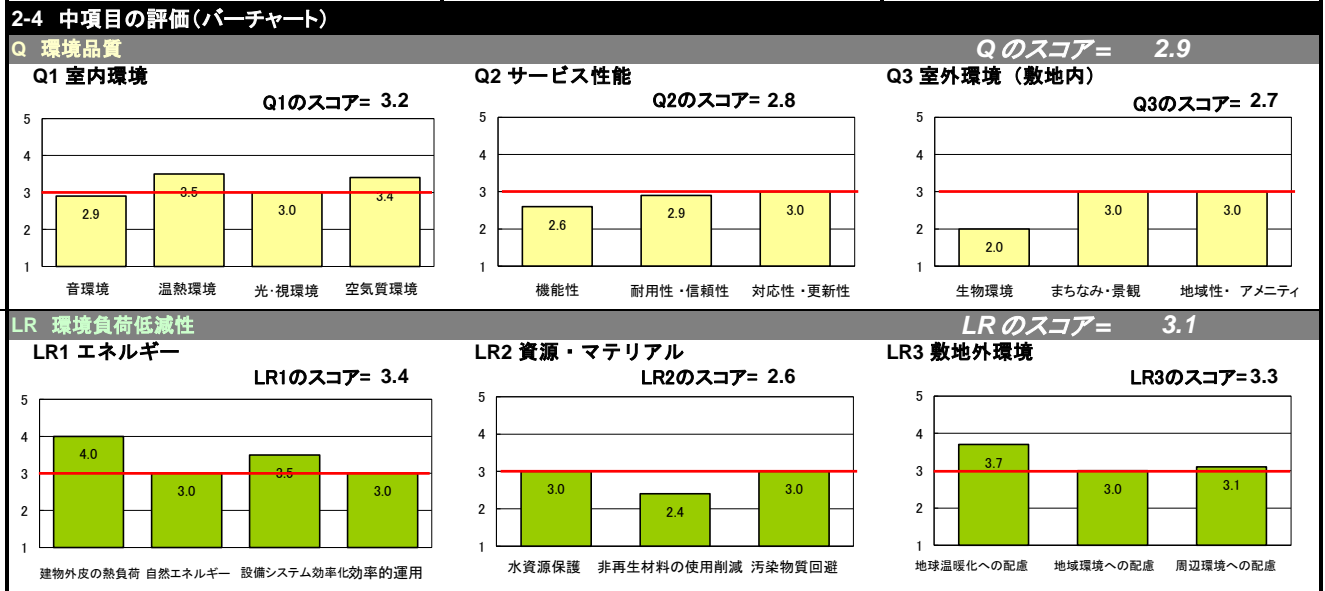
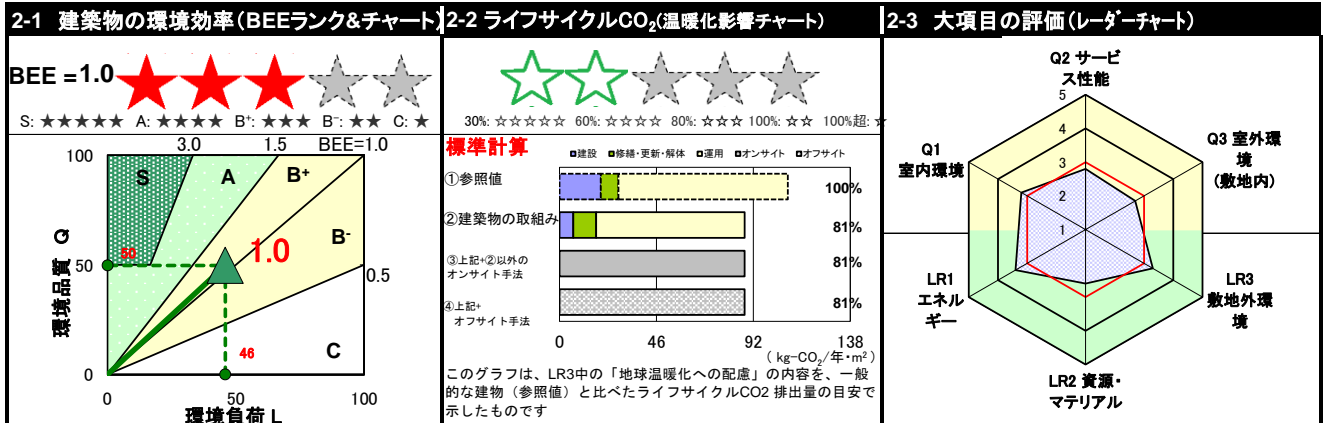


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ライフレビュー相模原 新築工事	階数	地上11F
建設地	相模原市中央区相模原6丁目244-2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	110 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年7月18日
敷地面積	663 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社DAN総合設計
建築面積	418 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,276 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
限られた敷地の中に豊富な緑地、適切な量の駐輪場・駐車場を確保し交通負荷抑制や生物資源の保護に配慮し、防災備蓄倉庫を設けて災害に備えている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・全面的にF★★★★の建材を採用し空気質環境に配慮する	・耐用年数の長い配管材料を採用し建物の耐久性に配慮する	・限られた敷地の中にできるだけ多くの樹木を植栽し温熱環境や生物環境の保全に配慮する
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・潜熱回収型給湯器及び空冷ヒートポンプ式エアコンを採用し省エネルギーに配慮する	・フロンやハロンを極力用いないようにし、汚染物質含有材料の使用回避に配慮する	・広告物照明の対策を行い、光害の抑制に配慮する

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される